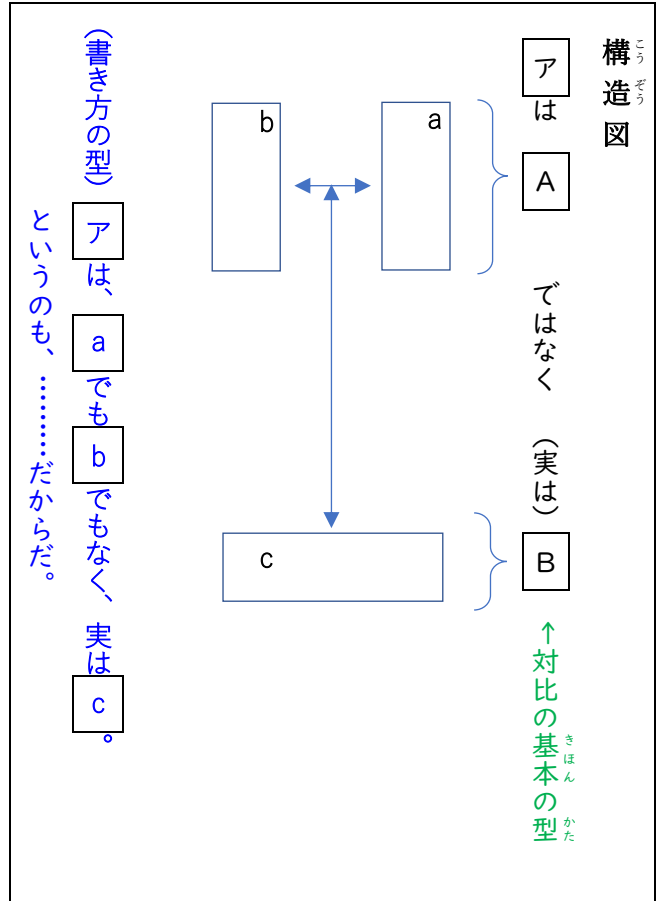


逆説型短文

構造図



★ 書き方のポイント

(構造図の) A・B部分は通常は抽象的になるが、この作文では具体的なほうがよい(a〜c)。

ただし、読んだ人が、そこに隠された対比の観点(抽象的な観点)に気づけるものでなければならぬ。気づきにくいかも、と思ったら、例文のように、「というのも」「なぜなら」などで補足して説明する。

★ 動画を見て書き方をよく学んでから、自分で短作文を書いてみよう。

(例文)

(1) 多くの人にとって本当にいい天気と言えるのは、雨でも晴れでもなく、実は曇りではないか。

というのも、暑くも寒くもなく心が落ち着くからだ。

(2) 本当に頭を使う教科は、国語でも算数でもなく、実は体育だと
言える。

なぜなら、書いたり読んだりせず、頭の中で臨機応変に考えなければならぬ場面が多いからだ。

(3) 情報を手取る手段として欠かせないのは、今や、新聞でもテレビでもなく、インターネットである。

新聞もテレビも、そこにあるのは他の誰かによって手が加わった二次情報だが、インターネットには、ほとんど他人の手が加わっていない一次情報がたくさん存在するのだ。

(4) ものを教える立場の人間にとって必要なのは、ほめることでもしかることもなく、事実を「見留める」ことだ。

まず事実を見留め、そのあとで初めてほめたりしかったりする。この第一ステップを忘れてはいけない、ということだ。